



政務活動費収支報告書

令和 5 年 3 月 31 日

瑞穂町議会議長

古 宮 郁 夫 様

議員名 村 山 正 利



令和 4 年度政務活動費について、次のとおり収支報告します。

- | | | | | |
|---|---------|----------------|---------|----|
| 1 | 収 入 | (政務活動費交付額 金 | 120,000 | 円) |
| 2 | 支 出 | (政務活動費支出額 金 | 149,964 | 円) |
| 3 | 添 付 書 類 | 支出に係る領収書等の証拠書類 | | |

令和4年度 政務活動費 収支報告書

議員名： 村山正利

1 収 入

項 目	金 額	説 明
政務活動費 (①)	120,000 円	当初交付金

2 支 出

項 目	金 額 ※1	説 明
調 査 研 究 費	80,080 円	支出内訳参照
研 修 費	円	
広 報 ・ 広 聴 費	円	
資 料 作 成 費	4,180 円	
資 料 購 入 費	65,704 円	
合 計	149,964 円	

差引金額 (①-②)	△ 29,964 円 ※2
------------	---------------

※1 用途項目ごとに集計の上記載してください。

※2 差引金額に残余が生じた場合は、この金額を返還してください。
(差引金額が△(マイナス)の場合は返還の必要はありません。)

支出内訳

項目	適用及び内容 (視察の場合は日程及び場所を記入すること)	支払金額	備考
調査研究費	令和4年6月28日から30日まで 沖縄県沖縄防衛局他	80,080 円	
資料購入費	読売新聞購読料 令和4年度分	46,000 円	
資料購入費	西多摩新聞購読料 令和4年度分	10,056 円	
資料購入費	月刊「地方議会人」購読料 令和4年度分	9,648 円	
資料作成費	消耗品費プリンターインク代	4,180 円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		149,964 円	

視 察 報 告 書
{自民新政会視察調査団}

議員名：村 山 正 利

1 期 間 ： 令和4年6月28日（火）～令和4年6月30日（木）

2 参加者 ： 小山典男、石川 修、村山正利

3 視察先及び視察項目

視察日	都道府県名	市町村名・施設名	視察項目
【1】 6/28（火）	沖縄県	沖縄防衛局	沖縄基地の現状について
【2】 6/29（水）	沖縄県	嘉手納町	「道の駅かでな」について

※午後に予定した知念紅型研究所視察は、強い沖縄経済を実現し観光産業の実現目指している取り組みを研鑽する予定だったが、先方の都合で視察はできなかった。

(3) 6/30（木） 沖縄県 辺野古基地埋め立て地視察

※辺野古埋め立て地の視察については、反対派の住民の小屋が設置されており、常駐し警戒しているので車から現場の状況を目視視察することとした。

4 視察報告

(1) 選定理由

【1】 沖縄防衛局

わが町は、米軍横田基地を抱え様々な基地対策を行っている。

沖縄県は、多くの米軍基地関連施設等が所在しており、その運営管理に努めている。また、沖縄県は日本に復帰して50周年の節目を迎えている。そうした中で、辺野古移設等の大きな課題を抱え、県民の思いや考えを研鑽することが必要あると考えている。多くの沖縄県に所在している基地関係を統括している監督庁である沖縄防衛局で指導を頂くことが適当と考えた。

【2】 嘉手納町

わが町でも、過去に地域活性化事業の一環として、「道の駅」について商工会を中心に検討された経緯があり、残念ながら実現することができていません。その間、昨今では、町の大型店舗が撤退するなど大きく町が変容しています。地域活性化を望む声の中で、道の駅の設置を希望する住民も少なくありません。わが町、同様に基地を抱える嘉手納町の「道の駅かでな」を視察することを計画した。建設にあたっての沖縄県の基地関係予算や運営課題についても研鑽する必要があると考えて選定した。

(視察先で頂いた資料等は、村山が一括で管理しています。)

(2) 視察調査内容

【1】 沖縄防衛局

- ・ 沖縄防衛局の概要・・・平成20年4月1日、那覇市から嘉手納町に移転し現在に至っている。局の組織内容として、企画部、管理部、調査部及び労務部で運営されており総勢551名の体制となっている。
- ・ 調査内容
 - ① 沖縄県では、41市町村ある中基地所在市町村が21市町村あり、うち行政区域が占める米軍施設の割合が30パーセントを超える市町村が7市町村となっている。
 - ② 米軍施設の98%が、中部・北部に所在し、自衛隊施設の57%が南部に所在している。
 - ③ 平成25年、在日米軍再編のうち、沖縄県内における土地返還について返還スケジュールを明記した「総合計画を」を日米間で作成した。
 - ④ 普天間飛行場代替施設建設は、平成29年11月から辺野古側の護岸工事に着手し、平成30年12月に埋立工事に着手し令和3年には、4メートル以上の埋め立て工事を進めている。
 - ⑤ 令和4年度、沖縄県の予算歳出として、基地対策事業費で1889億円米軍再編関連経費で865億円、SACO経費（沖縄県における施設課題のための）5億円が計上されている。

【2】 嘉手納町

- ・ 嘉手納町の概要・・・沖縄本島の中部に位置し、東シナ海に面した西海岸に接する町です。面積は15.2平方キロメートル、中部市町村においては比較的小さな町です。そして、面積の約82パーセントが嘉手納基地に接収されている。人口は、令和4年5月末日現在で、世帯数5,652世帯人口男6,422人、女6,829人の合計13,251人となっている。
- ・ 調査内容
 - ① 平成15年に開業して約19年が経過している。4階の展望室場から嘉手納基地が一望できるという施設の特性がある。
 - ② 施設当初事業費として総額1,211,163千円でうち沖縄米軍市町村活性化事業費補助金1,090,464千円、リニューアル事業費として総額1,449,744千円でうち沖縄振興特別推進市町村交付金（一括交付金）1,090,464千円が充当されいた。
 - ③ コロナ過以前は、年間50万人以上が訪れており嘉手納町の観光資源となっている。
 - ④ 平成25年から始まった「道の駅かでな」は機能拡充事業が令和3年度末で完了して令和4年にリニューアルオープン。敷地側にせり出したところに新たな展望やテナント数を増やし更なる観光客の増加を見ている。

(3) 《所 見》(3人により所見を協議・検討して纏めた。)

【1】 沖縄防衛局

瑞穂町議会自民新政会は、国防、米軍基地関係並びに自衛隊関係の施策は国の専管事項と捉え、反対する立場ではないことで考えている。以下はその観点から所見を纏めたものである。

今回沖縄が日本に復帰してどのように思い今後どのような在り方を求めるのかを追求しながら視察研修を行った。残念ながら住民の方に直接話を伺うことができず、沖縄防衛局職員や嘉手納町の職員から聞き取りをした。やはり沖縄県が所有する基地等関係面積が非常に大きいことの不安を抱えている。

また、日ごろに騒音に悩まされている様子であり、わが町の騒音と比べても比較にならないことは言うまでもない。今回調査するにつれ米軍施設の広さに着眼しているが、抑止力、対処力の強化を図るため自衛隊配備の空白地域となっている島嶼部の配備を進めていてかなりの面積を有していることも、沖縄県民にとって重圧となっているかと思われる。今後沖縄の基地軽減策や現在辺野古移設問題や諸課題について町や議会などの関係機関に発信しなければならないと痛感した。また、改めて沖縄の歴史や県民の思いを正確に伝えて行きたい。

【2】 嘉手納町

わが町の地域活性化対策事業をすすめるため、基地を抱える沖縄県嘉手納町の「道の駅かでな」に運営等の実態を見聞することと、那覇市にある知念紅型研究所の強い沖縄経済を実現し観光産業の実現目指している取り組みを研鑽することとした。残念ながら知念紅型研究所は、視察することができなかった。

嘉手納町では町の活性化を促進するため、第5次嘉手納町総合計画を策定し、「ひと、みらいに輝く交流のまち かでな」の実現に向けたまちづくりを目指すため観光の拠点と情報発信のため整備やリニューアル進めていた。

課題としては、管内の店舗の売り上げや客単価が500円程度の低い水準に留まっており、入館数や売り上げの向上に結び付けていくことが課題となっている。そのための解決策として、平成26年度「道の駅かでな機能拡充基本計画」が策定されていた。また、管理運営面では、当初は委託契約で業務を運営していたが、令和4年4月1日、観光を推進するだけでなく、文化の維持発展及び地域活性化に寄与するため指定管理者会社を設立した「かでな観光協会」が運営管理をしている。

わが町でも、道の駅の建設は、町にとって大いに活性化対策の一助になると考える。その際は横田基地の存在を意識しながら嘉手納町同様に展望施設や騒音測定装置設置を考慮すべきと考える。

